

### 2007年度予算概要発表

# 一般会計2203億円(前年比59億円増) 増税の影響で区民税68億円余の増収

足立区議会議員

**日本共産党**

こんにちは  
**伊藤和彦**です

自宅・花畑6-7-23 電話3859-6952  
足立区役所・電話3880-5111(内線4650~4654)  
日本共産党議員団・ダイヤル直通・3880-5770~1

## ためこみ金(06年度末) ついに六四七億円余に

2007年度は、国の三位一体改革(第一期分)にともない地方税への税源移譲(個人住民税所得割の10%比例税率化・いわゆる住民税のフラット化)が行われます。

これは、これまで住民税の所得割の税率が所得金額200万円以下(足立区の納税者のおよそ六割・16万3500人)の方は、区民税と都民税の合計で5%でしたが、これが10%に引き上げられ、逆に、所得金額700万円以上の高額所得者の税率は、これまでの13%から10%に引き下げられて、低所得者も、高額所得者も同じ税率になるというものです。

また定率減税の廃止などで、保育園の保育料の負担が重くなるなど、区民生活への影響は避けられません。

予算の内訳を見ると増税の影響で、来年度の区民税は68億円余の増収となっています。

区は06年度の増収分も最終補正予算で積立金にまわし、ついにためこみ金は647億円にもなりました。(下表参照)

このお金を使えば、区民の痛みを和らげる施策は充分実施できるはずですが、区長にその考えは全くないようです。

区は、この分所得税が引き下げられるので一人の納税者で考えれば影響はないなどと説明していますが、住民税の増税は、



### 区民の家計はやせ細るのに、区のためこみ金は増える一方 積立金残高の状況 (単位：百万円)

年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度
財政調整基金残高	414	1,264	1,264	1,265	2,039	7,804	7,853
特定目的基金残高	26,499	24,185	24,303	31,935	41,863	56,942	57,363
基金残高合計	26,913	25,449	25,567	33,200	43,892	64,746	65,216



## 猫の不妊去勢手術助成が実現

昨年、第3回定例会に「あだち地域猫の会」から「犬及び猫の不妊・去勢手術助成金の創設を求める請願」が4933名の署名がよせられ、日本共産党は採択をさせるため論戦しました。質疑の中で飼い主のわからない猫の苦情が多いことや、不妊・去勢手術は自由診療のため、オスで1万5000円、メスで2万、3万円の費用がかかり負担が大きいのなどが明らかになりました。区はかつて不妊去勢手術費用(平成四年から七年まで)を獣医師会の協力も得て助成してきました。厚生委員会では採択、十月二十日・本会議で採択され、区は新年度予算案に、助成事業として460万円を計上しました。区民の願いが実現しました。

「あだち地域猫の会」のみなさんに予算案のことを伝えると、「みんなで署名を集めて運動してきて、実現できてよかった」と話していました。

# 区議会傍聴のご案内

二月二十日から足立区議会  
第一回定例会がはじまります。  
会期は二月一五日までの24日  
間です。現在の議会構成で、最

二月二十日午後2時から  
鈴木けんいち議員が行います。  
ぜひ本会議傍聴においでください。

後の議会で、来年度予算  
審議も行われる重要な議  
会です。

日本共産党の代表質問は

「振動がうるさい、住宅地に  
工場があるのがおかしい」  
花畑2丁目



「子どもが近くの小  
学校に通っています。  
早朝から大型トラック  
が行き来してあぶない。  
通学路にもなっている  
のに危なくて仕方がな  
い。振動がうるさくて  
かなわない。なんとか  
してほしい。区画整理  
がすすんだのに・・・、住  
宅地なのにあんな大き  
な工場があることがお  
かしい」  
(花畑・小学生の親よ  
り)

## 伊藤和彦 新事務所開設

2月24日(土) 午後2時  
午後7時



貧困と格差がひろがり、  
税金の使い方が鋭く問われ  
る情勢です。区民のくらし  
とを守るため伊藤和彦事務  
所開きを上記の予定で行い  
ます。  
●場所は、花畑団地行きバ  
ス通りの「今井印刷」(花  
畑四一二六―九)のところ  
です。(北部信用組合の前)  
身近に役立つ伊藤和彦区議  
の生活相談活動所にもなり  
ます。  
伊藤和彦区議が区政報告  
と挨拶をいたします。  
お誘い合わせてご参加くだ  
さい 伊藤和彦事務所

本をプレゼントされて、  
ありがとうございます。

竹ノ塚駅東口で朝の宣伝(2月5日)の時に、「私の書いた本上げま  
すから、読んでください」と突然、女性から本をいただき、その人は駅  
に向かわれました。「竹の塚な女のつれづれ草」という本です。小野ま  
み 美香の著名。早速読ませていただきました。痛快なエッセイで足立  
区を、竹の塚をよなく愛し、電車通勤の情景、女性の感性豊かな思  
いが伝わる本でした。  
住所がわかりませんが、ありがとうございます。(伊藤和彦)